

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	入間市公共施設マネジメント事業計画 学校統合地区検討会議（宮寺・二本木地区）第2回会議
開 催 日 時	令和元年9月25日（水） 午後7時00分 開会・午後9時15分 閉会
開 催 場 所	二本木公民館1階大会議室
議 長 氏 名	近藤勝美会長
出席委員(者)氏名	入間市公共施設マネジメント事業計画 学校統合地区検討会議（宮寺・二本木地区）委員 川島世利雄、後藤賢治、中村隆、中村智洋、野崎皓布、羽石未樹、 馬場準、古谷圭、村杉美和、山口達也、吉川清
欠席委員(者)氏名	岡崎幸子、服部龍児、濱邊一幸、水村由高
説明者の職氏名	総務部公共施設マネジメント推進課主幹 大石浩士
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	<p>1 開 会</p> <p>2 委員挨拶</p> <p>3 議 事</p> <p>(1)各種データの確認</p> <p>①人口の動向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局説明 ・質疑応答 <p>②小学校の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局説明 ・質疑応答 <p>③国道16号の交差点の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局説明 ・質疑応答 <p>④スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局説明 ・質疑応答

	<p>(2)「公共施設マネジメント事業計画学校統合地区検討会議における検討事項について」</p> <p>(3) 次回検討事項説明</p> <p>4 閉会</p> <p>公開</p>
非公開理由	なし
傍聴者数	8名
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入間市公共施設マネジメント事業計画学校統合地区検討会議（宮寺・二本木地区）第2回 説明資料 ・ 説明資料補足① 宮寺・二本木地区 町字別人口推移 ・ 説明資料補足② 入間市防災マップ〈宮寺・二本木地区〉
関係部局職員氏名	<p>教育部部長 新見輝明</p> <p>教育部次長 関谷佳代子</p> <p>教育部参事兼学校教育課長 北野晃</p> <p>教育部副参事（教職員指導担当） 伊藤浩二</p> <p>教育部教育総務課課長 鹿山泰隆</p>
事務局職員職氏名	<p>総務部部長 田雑弘章</p> <p>総務部次長 徳山寿行</p> <p>総務部参事兼公共施設マネジメント推進課課長 浅見泰志</p> <p>総務部副参事（公共施設マネジメント担当） 平沼宏之</p> <p>総務部公共施設マネジメント推進課主幹 増田暁伸</p> <p>総務部公共施設マネジメント推進課主幹 大石浩士</p>
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

1 開 会 (午後 7 : 00)

2 委員挨拶

3 議 事

(1)各種データの確認

①人口の動向

・事務局説明

・質疑応答

②小学校の概要

・事務局説明

・質疑応答

③国道 16 号の交差点の状況

・事務局説明

・質疑応答

④スケジュール

・事務局説明

・質疑応答

(2)「公共施設マネジメント事業計画学校統合地区検討会議における検討事項について」

(3)次回検討事項説明

4 閉 会 (午後 9 : 15)

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する。)</p> <p>(1)各種データの確認について</p> <p>①人口の動向</p> <p>②小学校の概要</p> <p>宮の台の隣にあるむさし藤沢台とは何なのか。</p>
事務局	<p>狭山小学校区の通学班で、狭山小学校から右側に武蔵台自治会とむさし藤沢台自治会がある。スライド 12 の武蔵台の通学班は、武蔵台とむさし藤沢台に住んでいる児童が相当する。各エリアで何人ずつ通っているかは確認できていない。</p>
委員	<p>狭山台の区画整理事業によって、児童数を増加させることに大きな成果があったと説明があった。実際に住んでいるが、まだ事業の効果は終了していないと見ている。最近、自宅も登記が 15 年ぶりに完了したばかりであり、現在も毎日のように周辺では家屋を建築する工事が実施されている。自宅からずっと南側の景色が見えていたが、たった 1 年で見えなくなるくらいの勢いで建築されているので、区画整理事業の効果はまだまだ続くと考えている。入居率もだいたい 6 割から 7 割ある。よって、狭山台地区においては生徒数の増加は見込める。相当の数の女性の保護者と話をしたが、多くの方が小学校の統合についてまったく理解していない。いまだに狭山小学校に統合すると理解されている保護者も多くいる。統合の問題については、まったく緊迫感がない。人口を増加させようとする宅地造成が進んでいる。狭山小学校が近く歩道も整備されており大変住みやすいことや子供が育てやすい環境であることから 30 代ら 40 代の親の入居が多い。インターネットで狭山台の不動産を検索すると、小学校が近いという</p>

発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>ことを売りにしている。区画整理事業における人口増の成果があったという過去形ではなく、まだまだ続くという認識をしている方が多い。人口が増加している一方で学校を統合するという、相反するものが同時に行われているような違和感を多くの方が抱いている。</p> <p>小学校は中学校と違い、気持ち的なものかもしれないが、地域の核である。今その核を中間地点の一つにしようとしている。地区全体として人口が減少傾向にある中で、狭山台は増加しているのに宮寺は減少している。宮寺地区は家が建てられないということが、大きな一つの切り口としてある。小学校が中間地点に動いたところで、家が周りに建てられるようになるのか。法律的な問題等もあるかと思うが、その可能性があるのか教えていただきたい。</p>
事務局	<p>学校用地が決定していない中で具体的な話ができないが、おっしゃるとおり宮寺地区に住宅開発するとなると法律的な制限がある。仮に、小学校の位置が決まり住宅開発の可否については、土地利用の見直し等をする必要がある。土地利用の見直しについては、簡単にできることではない。市の判断だけではなく、県または国の判断も関わってくる。現段階で、住宅開発ができるのかできないのかという判断はできない。</p>
委員	<p>簡単ではないということか。</p>
事務局	<p>国全体の問題として、人口が減少しているということがある。国としても新しい住宅開発エリアを拡げるといことは、認めてもらえない。国はコンパクトシティを掲げており、今後の土地利用は住宅開発を拡大していくというよりも集約をしていく方向で考えている。郊外に新しい住宅を開発していくといことは、非常に難しい面がある。</p>

発 言 者	発 言 内 容
委員	宮寺地区の今後を考える中で、いろいろな方法がある。小学校の統合が先行してしまっていて、周りが追いついていない。
委員	武蔵藤沢駅から国道 463 号に向かうと爆弾ハンバーグがある。その隣に武蔵藤沢から宮寺への道路が新設された。そこから所沢方面は市街化区域に変更するため、おそらく住宅が増え人口も増えるであろう。宮寺地区は、道路ができて市街化調整区域のため住宅は建築できない。人口が減少するから学校を統合するのではなくて、所沢市と協力して市境の宮寺地区も市街化区域に変更するようなことは考えられないのか。市街化区域になることで、土地の値段は上昇し、人は増え商売もでき、全てが良くなる。所沢の小学校と宮寺地区の小学校が連携するようなことができれば、国道 16 号を渡って通学することもなくなるのではないかと。狭山台の人口が増加しているのは、小学校が近いからである。宮寺地区は市街化調整区域のままでは人口が減少するのは当たり前である。せっかく、武蔵藤沢駅から宮寺地区に繋がる道路が新設されたのだから、所沢市境の宮寺地区は区画整理をして人口を呼び込まないといけない。小学校の統廃合を考える前に、人口を増加させる対策を考えることも必要である。
委員	今の意見に賛成である。宮寺地区に新しい小学校を作る前に、宮寺活性化のための道路を早く完成させて、周辺に人が住めるようにさせる。実際に、狭山小学校で成功しているわけである。
委員	小学校の統合から話が広がってしまっている。
事務局	まちづくりの関係については都市整備部が所管している。直接の担当部署ではないので適切な説明ができないが、土地利用計画の見直しについてはそのような話を聞いたことがある。道路開発時に所沢の市域分について、

発 言 者	発 言 内 容
	<p>いくつかの個人経営が進出できるような土地利用を考えているということであった。住宅街という認識がなかったが、法人を誘致して歳入を確保するという土地利用計画であったと思う。大前提として、地権者の方々が強い意志を持たれて団結されたとお聞きしている。入間市の宮寺地区の農振農用地地区が指定された経緯は、以前に土地利用の意向を確認したところ、土地所有者の意思として当時は畑としての希望があり、なかなか意思統一が図れなかったと聞いている。土地利用計画を見直す際に、市と県、国だけですべての物事が進むわけではなく、土地所有者の意思が重要となる。所沢市においては、現状を打破する土地所有者の方々の意思が固まったことで、土地利用の切り替えができる要因になったのかなと思う。国全体としては人口減少時代に入っているため、住宅街を増やすという考えは基本的にはもっていない。コンパクトシティという一つのエリアに集積をしていく中で、駅を中心としたコンパクトなまちづくりを我々は期待している。そのエリア内にある農振農用地が住宅用地に切り替わる可能性は考えられるため、まったくゼロだとは思っていない。実際のところ、長期的な計画を立てて手順をおって進めていき、具体的に地権者の方々の意思が固まり市街化区域へ切り替える手続きをしたとしても、一桁の年数では進まない。様々な許認可関係の手続きは相当な時間を要する。狭山台の住民が増えていることについては、スライド 3 とスライド 5 の資料の中で、2014 年の人口推計で 2019 年を推計したところ宮寺・二本木地区は 11,123 人であった。ところが、2019 年の実人数を見てみたところ 11,439 人で約 300 人以上の方が実数として増えている。これは区画整理の成果であり、今でも住宅戸数が伸びているので、今後上振れする要素があるのかなと思う。一方で推計は減少傾向もあるため、これまでの伸びを超えるというのは割り引いてみていかなければいけない。いずれにしても、土地利用の関係については、地域の皆様のご要望をもって我々もできるところは積極的に進めなければいけない。現実的には、手続きには相当な時間、</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>10 年以上の期間を要する。これからの宮寺・二本木のまちづくり、発展ということを考えるのであれば、今おっしゃられたことは求められることであると思う。そういった意思は本日初めて聞いたわけではなく、過去からも聞いているので担当部署にも市長にも伝えたいと思う。</p>
委員	<p>入間市の農家の地権者が畑でいいと言われたのはいつ頃の話なのか。次回でいいので、地権者の何%が畑でいいと言っていたのか等の当時のデータを示してほしい。</p>
事務局	<p>過去において地権者が畑でいいと言っていた話は 10 年 20 年前のことである。今の土地利用計画を策定した時の話である。武蔵藤沢駅から爆弾ハンバーグへの道路が貫けた時の地権者の意見を聞いているかどうかは担当部署に確認するが、おそらく確認していないと思う。</p>
委員	<p>10 年かかるからといってそこで諦めるのではなくて、10 年後に地域を良くしよう、さらに 10 年後にはもっと良くしようという気持ちがなければいけない。時間を要するからという説明は納得がいかない。</p>
事務局	<p>これまでの住民説明会等で担当部署から話したことを説明させてもらった。そういった住民ニーズがある以上はチャレンジをしなければいけないということは考えている。</p>
委員	<p>何でもそうだが、やらないことには何も進まない。</p>
事務局	<p>決して 10 年という期間にこだわっているわけではない。そもそも小学校統合の関係になると 10 年後には校舎が 60 年経つので、そのことを考えなければいけない。10 年後に考えるのではなくて、小学校統合をメイン</p>

発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>として考えなければいけない。5 年後に土地利用計画の見直しができるのであれば、着手してその後のことを考えればいいがそれは無理である。10 年後の校舎建て替えの時期がそれぞれ決まっているので、建て替える時にどうするのかということは今考えなければいけない。</p> <p>小学校の建て替えの時期がきているということも現実である。ただ、宮寺・二本木地区としては、将来的にこういう地域にしていかなければいけないという切実な思いがある。大森だとか北中野あたりに貫ける道路は、入間市の計画の中に載っているのではないか。その辺も含めて、委員の要望があれば検討会議は関係者の出席を求めることができる。担当部署の方に来ていただき説明を受け、こちらの意見を直に聞いていただくこともできる。委員の皆様いかがでしょうか。</p>
委員	<p>よろしく願います。（拍手）</p>
委員	<p>ぜひ、そういった形で進めていただきたい。</p>
事務局	<p>次回又は、テーマが確定した際には、出席させることはできる。私共としてはまちづくりの関係も説明しなければいけないと思っている、少なくともこの会議は学校統合がメインテーマであるので、それを考える上での参考として宮寺・二本木地区のまちづくりについて担当部署を出席させるという位置づけでお願いしたい。</p>
委員	<p>前回欠席の委員もいらっしゃったので改めて確認させていただく。この会議の前提条件は、学校を統合するにはどうしたらいいのかということである。前提条件を外さないところで会議を進めていきたい。ただ何も地区の将来が分からないまま学校を統合するということはないと思う。委員の皆</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>様から本日提出いただいた課題によって今後の流れがつくられていくので、その中で担当部署の出席を求めています。</p> <p>本日の人口データの説明は、先週西武地区でも説明させていただきました。西武地区と宮寺・二本木地区で具体化されていることが違う。西武地区で本日と同じような説明をさせていただいた時に、もう少しこういったデータがほしいというような宿題をいただいた。本日の説明だけでなく、こういったデータがあれば議論がしやすくなるというような要望があれば聞かせていただきたい。</p>
委員	<p>農業振興地域が宮寺地区は過半数占めていると思うが、具体的なところも含めて担当部署と直接話ができればいいと思う。</p>
委員	<p>学校の統廃合の原点は、子どもの数が減っていることと市の財政が厳しいことからスタートしている。そのために、学校を一つにして通学距離が遠くなる子どもがいるかもしれないが、我慢してくれという感じに見えてしまう。市の財政の話は完全に大人の都合であって、そのために子どもにリスクを背負ってもらうという形になっている。そうであれば、今後新しくできる学校については、子どもたちも保護者たちも統合してよかったなと思える学校にしてほしい。ただ、適切な規模にしたということではなく、他にはない教育ができるとか便利な施設が併設されるとか、他にも新しいことを始めるなど、地域に支えられたこんな素晴らしい学校ができるというような子どもたちにとっても前向きになることが望ましい。先進的な学校については議員や教育委員会の方が視察等もいかれているので、直接説明していただくなり資料を提供してもらったりして今後どういう学校にしていったらよいのかということはこの検討会議で議論していくほうがよい。今後の流れの中で、お汲み取りいただきたい。</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局	それは、ハード面もソフト面もということか。
委員	そうである。
事務局	教育委員会と何ができるか相談していきたい。
関係部局	<p>小中一貫校に視察にいったことがある。児童・生徒数の減少に伴って小学校と中学校が分かれていたものを一つにして、ある一定程度の学校規模の中で新しい校舎を建てる。小学生と中学生が交流する中で新しい教育環境の充実を目指していくというものである。本日のデータを見ても分かる通り、各学年一学級でありクラス替えができないことは様々なデメリットがある。適正な人数の中では多様な考え方であったり、教育活動ができたりする。次回会議以降、統合することによってどのような教育環境の充実が図れるのかということは何らかの形でお示ししたい。</p>
委員	通学距離が遠くなったが、今度の学校はいいよねというようにしてもらいたい。
委員	<p>金子地区は小学校と保育所を統合することで進めている。例えば、宮寺小学校と宮寺保育所、狭山小学校と二本木保育所を統合するという考え方ではいけないのか。宮寺小学校と狭山小学校を統合するので、通学に際し国道 16 号の問題が出てくる。金子地区と同じ考え方をした場合に、国道 16 号の問題もなくなるのではないか。</p>
事務局	金子地区は同じ地区に小学校が 2 校ないことが前提となっている。現在、地区を 9 つに分けているが、金子地区の小学校については統合の対象とな

発 言 者	発 言 内 容
	<p>っていない。金子地区には保育所が2ヶ所ありそれぞれ老朽化が進んでいて、人数も減っているということで統合して新しい保育所をつくろうという考え方があった。その中で、学校の余裕教室を使って保育所を統合できないかということで小学校と保育所を同じ敷地内に併設をするという考え方がある。一方で、小学校の統合は児童数の減少の問題があり、それを解消するのが大きな目的である。したがって、小学校と保育所の統合は施設を一つにできるが、児童数減少という問題は解決ができない。教育環境を充実させることやクラス替えができることを基本にすると、学校の統合を考えないといけない。学校と保育所を一つの敷地にという考え方を否定するわけではない。</p>
委員	金子小学校の児童数はどのくらいいるのか。
事務局	平成31年度4月6日現在で12クラスで366名である。
委員	金子小学校の児童数は減少しているのか。
関係部局	平成30年度4月は378名なので、若干ではあるが減少している。
委員	<p>前回会議で学校規模をそれなりに保つことによって、教育環境がどのようによくなるのかの説明を求めていたが、今後説明をいただけるということによろしいか。</p>
関係部局	<p>新しい学校はこんな学校になるというイメージをお示しすることが、委員の皆様が納得いただけるのではないかと思います。教育環境をハード面でもソフト面でも充実させていくことで、これからの教育の方向性にもつながるので何らかの形でお示ししていきたい。</p>

発 言 者	発 言 内 容
委員	今後の課題等スケジュールを早い段階で示していただけると助かる。
事務局	本日皆様からご提出いただいている課題もあるので、それをまとめ次回の検討事項を洗い出していきたいと考えている。課題によっては資料作りに時間を要するものもあるため、資料作成次第、4回目や5回目に検討していければと考える。
委員	今後、小学校を中間地点につくるとしても圏央道付近から通っている狭山小学校の児童はかなりの通学距離になる。スクールバスを導入した場合に、どの程度の距離からスクールバスが児童を乗車させる基準となるのか、また他の地域での事例があればお示しいただきたい。中間地点に学校用地を確保するのが喫緊の課題だが、万が一それが難しかった時に狭山小学校に統合することになる。児童数のデータの推移をみていくと、統合予定の10年後からさらに10年後を予測したときのデータを見ると、おそらく武蔵中学校の生徒もかなりの数が減ってくることが予想される。場合によっては、3クラスを維持できなくて2クラスで推移することにもなりかねない。さきほど、狭山台ではまだ6割7割しか開発が終わっていないので、今後も新しい住宅の建築が見込めるという話があったが、すでに小学校に通っている児童は10年後にはこの地から離れていることも十分考えられる。新しく住宅が建築されたとしても、児童数は長期的にみれば減少傾向は歯止めがかからない。統合後の小学校の建築予定地は中間地点だけではなく、武蔵中学校の第2グラウンドを有効活用するなど検討されたのか。武蔵中学校第2グラウンドの敷地面積等考慮した上で、小中一貫教育をさらに充実させるということができるのかどうか。
委員	狭山小学校に統合するという案は、計画上には記載されていないので間違

発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>いのないようお願いしたい。</p> <p>スクールバスのシミュレーションについては資料を準備していきたい。また、中学校との一体的な整備ということについては、計画を策定する中では具体的に検討していない。ご指摘のとおり統合の時点で考えるのではなくて、将来のことも含めて考えることは大事な視点と考えている。</p> <p>③国道 16 号の交差点の状況 (特に意見なし)</p> <p>④スケジュール</p>
委員	<p>スケジュールについては、どこまでの方々に周知しているのか。</p>
事務局	<p>昨年度末に策定した公共施設マネジメント事業計画に掲載されているものであるので、広く公表している内容（スケジュール）になる。</p>
委員	<p>不動産業者等も承知はしているのか。</p>
事務局	<p>直接、事業者に対して説明していないが、市公式 HP に掲載している計画であるのでどなたでも見られるようになっている。</p>
委員	<p>狭山台の土地情報の表現が変わってきていて、事業者によっては小学校まで 10 分以内というような表記をしている。以前は、距離までしっかり掲載されていた。計画上に公表されているので仕方がないが、今後不動産業者等に広く伝わることで狭山台への入居者が減少するのではと危惧している。</p>

発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>(2)「公共施設マネジメント事業計画学校統合地区検討会議における検討事項について」</p> <p>多くの課題を提出していただくようご協力をお願いします。</p>
事務局	<p>(3)次回検討事項説明</p> <p>本日頂いた課題の中で、土地利用の問題、農振農用地との関係性についても、話を伺いたいとのご提案をいただいたので、関係課と調整してできれば第3回の検討会議で説明させていただきたい。</p>
委員	<p>資料配布や議事録作成はもう少し早めに対応してもらいたい。</p>
事務局	<p>可能な限り対応させていただく。</p>

発 言 者	発 言 内 容

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和元年10月28日

委 員 の 署 名

近藤 晴美